

## 平成 19 年度臨時総会議案について

平成 19 年度臨時総会は去る 2 月 26 日に開催され、以下の総会議案がすべて原案通り承認されましたのでお知らせします。

### 平成 19 年度事業計画 (第 1 号議案)

#### I. 事業の概要

##### 1. 研究発表会 (定款第 5 条 1 号)

研究発表会を春秋 2 回開催する。

###### (1) 春季研究発表会

期 日：3 月 28 日、29 日

場 所：鳥取大学 (鳥取県鳥取市)

特別テーマ：地方からの OR

見学会：3 月 30 日

###### (2) 秋季研究発表会

期 日：9 月 27 日、28 日

場 所：政策研究大学院大学 (東京都港区)

特別テーマ：OR の新展開 (仮)

##### 2. シンポジウム (定款第 5 条 1 号)

シンポジウムは以下の通り開催する。

###### (1) 第 57 回シンポジウム

期 日：3 月 27 日

場 所：鳥取大学 (鳥取県鳥取市)

テーマ：信頼性—温故知新—

###### (2) 第 58 回シンポジウム

期 日：未定\*

場 所：都内\*

テーマ：職業としての OR

\*従来シンポジウムは研究発表会前日に開催していたが、今回は 50 周年記念式典があり、別途計画するため現時点では未定。

##### 3. 普及活動 (定款第 5 条 1 号)

(1) 研究意欲の増進、最新知識情報の吸収を意図し、講演会を開催する。(各支部 1 回以上)

(2) オペレーションズ・リサーチの普及の一助として、また事業としての位置づけに配慮した OR セミナー(講習会)を 3 回開催する。

(3) 賛助会員の増強を図ると共に支部活動の活性化に寄与するため、OR 企業フォーラムを 2 回開催する。

(4) 賛助会員の増強を図ると共に、企業内での OR 実施例に対する社会の認知を高めるため、企業事例交流会を開催する。(年 2 回)

##### 4. 刊行物 (定款第 5 条 2 号)

次の刊行物を発行する。

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」(12 号)

(2) 和文論文誌「日本オペレーションズ・リサーチ学会和文論文誌」(1 号)

(3) 英文論文誌「Journal of the Operations Research Society of Japan」(4 号)

日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌

(4) 研究発表会アブストラクト集 (2 回)

(5) シンポジウム予稿集 (2 回)・セミナーテキスト (3 回)

(6) 研究部会活動結果の報文集等

##### 5. 日本学術会議および他学協会との連携・協力 (定款第 5 条 3 号)

(1) 日本学術会議の協力学術研究団体として社会的責任を果たす。

(2) 経営工学関連学協会 (FMES) の代表者会議委員に高橋幸雄氏、香田正人氏を派遣する。高橋幸雄氏は 2006 年度から FMES の会長 (任期 2 年) を、香田正人氏は同幹事を務める。

また、FMES 主催の第 23 回 FMES・研連シンポジウムの実行委員会に委員を派遣する。

(3) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) に参画し、グループ加盟している経営工学関連学会協議会 (FMES) と共に、経営工学部門の審査に積極的に取り組む。

(4) 社団法人日本工学会の活動に協力し、その他関連学協会との交流を積極的に進める。

(5) 横断型基幹科学技術研究団体連合に理事を派遣するなど積極的に活動に参加する。代議員に渉外担当理事の香田正人氏、理事に鈴木久敏氏 (元理事)、分科会、委員会に委員を派遣する。

##### 6. 国際協力・交流 (定款第 5 条 3 号)

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて、特に副会長選出学会として各国の OR 学会との交流、協力を図る。

(2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) を通じて、特に副会長選出学会としてアジア・太平洋地域の OR の発展と加盟

学会間の情報交換に積極的に協力する。

(3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集, 発行に協力し, 日本の文献抄録を送付するとともに, IAOR の国内頒布に協力する。

(4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集, 頒布に協力をする。

(5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集, 頒布に協力をする。

(6) 海外からの OR 関係来訪者に応接する。

## 7. 研究部会・研究グループ (定款第5条4号)

### (1) 研究部会

次の23研究部会を設置する。必要に応じて予算限度内での追加発足を認める。

#### ア. 常設 (6 研究部会)

「待ち行列」 主査: 小野里好邦 (群馬大学)

「OR/MS とシステム・マネジメント」

主査: 山田善靖 (東京理科大学)

「数理計画 (RAMP)」 主査: 藤重 悟 (京都大学)

「評価のOR」 主査: 森田 浩 (大阪大学)

「統合オペレーション」 主査: 山田郁夫

「意思決定法」 主査: 木下栄蔵 (名城大学)

#### イ. 継続 (11 研究部会)

「サプライチェーンネットワーク」

主査: 高井英造 (フレームワークス)

「食糧・環境問題における数理的手法」

主査: 伊藤 健 (東北大学)

「マーケティング・インテリジェンス」

主査: 中川慶一郎 (NTT データ)

「OR と実践」 主査: 成瀬喜則 (富山商船高等専門学校)

「計算と最適化」 主査: 村松正和 (電気通信大学)

「ゲーム理論と経済工学」

主査: 武藤滋夫 (東京工業大学)

「コンピューテーション」 主査: 加藤直樹 (京都大学)

「知的決定支援の理論と方法」

主査: 乾口雅弘 (大阪大学)

「情報ネットワーク性能評価」

主査: 岳 五一 (甲南大学)

「不確実性環境下での意思決定の理論と応用」

主査: 菊田健作 (兵庫県立大学)

「若手 OR 研究者の会」 主査: 増山博之 (京都大学)

#### ウ. 新設 (6 研究部会)

「安全安心学」

主査: 氏田博士 (エネルギー総合工学研究所)

「SCM 時代の製造マネジメント」

主査: 伊呂原隆 (上智大学)

「ソフトコンピューティングと OR」

主査: 片桐英樹 (広島大学)

「ファイナンスと意思決定」

主査: 木島正明 (首都大学東京)

「不確実性環境下での柔構造最適化モデリング」

主査: 岩村寛三 (城西大学)

「未来のインフラストラクチャー」

主査: 栗田 治 (慶應義塾大学)

### (2) 研究グループ

必要に応じて追加発足を認める。

## 8. 表彰 (定款第5条5号)

文献賞, 文献賞奨励賞, 実施賞, 普及賞, 業績賞, 事例研究賞および学生論文賞の選考・表彰を行う。

## 9. 広報活動 (定款第5条6号)

OR 学会の社会に開かれた顔としてのウェブページやメーリングリストを, 会員のみならず非会員を含めたわが国の OR の情報交換の場として活用されるインフラへと成長させることを目標に, メーリングリストメンバーの拡充やコンテンツの充実を図る。

また, 来るべき創立50周年に向け, これまで OR 学会が生み出してきた多くの知的財産を収録, 電子化した OR アーカイブス (仮称) の作成を進める。

## 10. 50周年記念事業 (定款第5条6号)

日本オペレーションズ・リサーチ学会は1957年6月15日に設立され, 2007年の同月同日に創立50周年を迎える。そのための記念事業として以下のものを予定している。

### (1) 創立50周年記念式典・講演会

2007年秋季研究発表会の前日(9/26)に, 記念式典・講演・懇親会を開催する。場所は政策研究大学院大学(東京・六本木)。

### (2) 秋季研究発表会特別セッション

2007年秋季研究発表会(9/27~28)において, 50周年を記念する特別セッションを設置する。ORの新領域開拓のための異分野の講演, アジア主要関連学会要人の招待講演, OR学会への要望に関するパネル討論等, ORの新展開に繋がるセッションを企画・開催する。

### (3) OR誌創立50周年記念特集号の発刊

日本OR学会創立期から, 我が国におけるORの発展を振り返り, その活動を評価するとともに, これから先50年のOR活動について展望を拓く特集を企画する。

### (4) JORSJ 創立50周年記念特集号の発刊

OR研究の将来につながる, 特に質の高い論文を集めた特集号を企画する。各分野の若手エース級研究者の招待論文を中心として, 特に論文の質にこだわった

特集とする。

(5) OR アーカイブの作製・公開

1) OR 学会の資産であるこれまでに発行された機関誌、JORSJ、研究発表会アブストラクト集を電子媒体へとりこみ、アーカイブを作製し公開する。公開の方法などについては今後検討する。

2) 作製されたアーカイブを利用して、OR 事典事例集、OR 教材集などの作製、出版も検討する。

(6) OR 事典 2007 の発刊

OR 事典 2000 を改訂し、OR 事典 2007 として発刊する。Web 上で公開する形態とする。

(7) 近藤賞の創設

我が国のオペレーションズ・リサーチの研究、普及または教育の分野で傑出した業績をあげた個人またはグループを称え、我が国におけるオペレーションズ・リサーチの発展に資するとともに、この分野を広く社会に周知させることを目的として「近藤賞」を創設する。募金活動を行い、その原資に当てる。

(8) 記念出版

40 周年の時の「経営科学のフロンティア」につづく記念出版を行う。次の 2 シリーズを朝倉書店から出版する。

1) シリーズ『オペレーションズ・リサーチ』（仮称）

2) 基礎数理講座（仮称）

(9) SSOR (Summer Seminar of OR)

若手実務家・研究者・学生の有機的なつながりを創

出する場を設けることにより、OR 普及の拡大を図ることを目的とする。関東近郊の宿泊施設において合宿形式の研究発表会を実施し、従来の研究発表会では構築が難しい異分野間での個人的ネットワークの創出をサポートする。2007 年 8 月下旬または 9 月上旬の平日の 3 日間を予定（2 泊 3 日）。

(10) 国際交流事業

アジア関連学会要人の招待講演またはパネル討論（上記(2)関連）の事業を企画する。

11. 支部活動（定款第 5 条 6 号）

各支部において、研究会、講演会、見学会等を企画し実施するほか、会員増強についても配慮する。支部財政のあり方についての検討を加える。

12. 公益活動（定款第 5 条 6 号）

(1) 受託研究

官公庁、財団等の公的機関からの委託研究を積極的に受託するように努める。

(2) 普及活動

高校生・一般市民に対する OR の普及活動を推進する。

13. その他（定款第 5 条 6 号）

(1) 基本問題検討委員会の答申を受けて、早急に具体策を検討し、可能な施策から実行に移すよう努力する。

(2) 財政基盤の安定化に努めるとともに、事務局の OA 化に配慮する。

## 平成 19 年度収支予算書

(第 2 号議案)

平成 19 年 3 月 1 日から平成 20 年 2 月 28 日

1. 一般会計

(単位：円)

1 収入の部			予 算 額 A	前年度予算額 B	差 異 B-A	備 考
大 科 目	勘 定 科 目					
	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		10,000	1,500	△ 8,500	
入会金収入	正会員入会金収入		90,000	90,000	0	
	学生会員入会金収入		60,000	60,000	0	
会費収入	正会員会費収入		29,610,000	30,427,800	817,800	
	学生会員会費収入		1,350,000	1,125,000	△ 225,000	
	賛助会員会費収入		7,850,000	8,420,000	570,000	
事業収入	会誌頒布収入		5,400,000	5,400,000	0	
	研究発表会収入		5,000,000	5,000,000	0	
	シンポジウム収入		300,000	1,600,000	1,300,000	
	セミナー収入		1,500,000	1,500,000	0	
	資料等頒布収入		300,000	300,000	0	
	I A O R 収入		315,000	320,000	5,000	
	E J O R 収入		558,000	550,000	△ 8,000	
	A P J O R 収入		220,000	150,000	△ 70,000	
	受託研究収入		1,000,000	1,000,000	0	
	寄付金収入		19,000,000	0	△19,000,000	

勘定科目			予算額	前年度予算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目	A	B	B-A	
その他収入	論文投稿掲載料収入		1,125,000	1,125,000	0	
	広告収入		4,500,000	4,500,000	0	
	受取利息収入		20,000	20,000	0	
	事務委託収入		150,000	150,000	0	
	退職給与引当資産取崩収入		0	2,700,000	2,700,000	
	表彰事業積立金資産取崩収入		100,000	400,000	300,000	
	国際協力積立金資産取崩収入		0	0	0	
	OA化引積立金資産取崩収入		0	1,000,000	1,000,000	
	財政調整積立金資産取崩収入		8,754,484	12,953,484	4,199,000	
	50周年事業積立金資産取崩収入		8,000,000	2,000,000	△ 6,000,000	
	近藤賞基金積立金資産取崩収入		1,500,000	0	△ 1,500,000	
雑収入		0	200,000	200,000		
当期収入合計			96,712,484	80,992,784	△15,719,700	
前期繰越収支差額			5,153,220	5,153,220	0	
収入合計			101,865,704	86,146,004	△15,719,700	
2 支出の部						
勘定科目			予算額	前年度予算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目	A	B	B-A	
事業費	研究発表会支出	開催費	3,620,000	3,620,000	0	
		印刷費	1,380,000	1,380,000	0	
	印刷製本費支出	機関誌	9,500,000	9,500,000	0	
		論文誌	2,500,000	2,500,000	0	
		印刷費	150,000	150,000	0	
	国際協力費支出	I F O R S 会費	340,000	340,000	0	
		I A O R 購入費	293,000	320,000	27,000	
		E J O R 購入費	560,000	550,000	△ 10,000	
		A P J O R 購入費	220,000	150,000	△ 70,000	
		A P O R S 関係費	100,000	100,000	0	
	研究活動費支出	シンポジウム開催費	300,000	1,700,000	1,400,000	
		セミナー開催費	1,275,000	1,275,000	0	
		OR企業フォーラム	600,000	600,000	0	
	研究部会費支出		1,035,000	945,000	△ 90,000	
	支部運営費支出		1,589,100	1,622,560	33,460	
	支部事業費支出		610,000	599,840	△ 10,160	
	表彰事業費支出		900,000	900,000	0	
	会議費支出		300,000	300,000	0	
	旅費交通費支出		500,000	500,000	0	
	通信運搬費支出		5,800,000	5,800,000	0	
	諸謝金支出		1,600,000	1,600,000	0	
	給料手当支出		8,000,000	8,500,000	500,000	
	臨時雇賃金支出		2,000,000	2,000,000	0	
	消耗品費支出		400,000	400,000	0	
	受託研究費支出		1,000,000	1,000,000	0	
	F M E S 関係費支出		500,000	500,000	0	
	名簿作成費支出		400,000	0	△ 400,000	
	雑費支出		0	0	0	
	50周年記念事業費支出		8,000,000	2,000,000	△ 6,000,000	
	特別研究積立金資産支出		0	5,000,000	5,000,000	
	近藤賞関係支出		1,500,000	0	△ 1,500,000	
	近藤賞基金積立金資産支出		19,000,000	0	△19,000,000	
	管理費	家賃支出	3,750,384	3,750,384	0	
	共益費支出	1,630,000	1,630,000	0		
	事務用品費支出	50,000	50,000	0		
	会議費支出	400,000	500,000	100,000		
	旅費交通費支出	1,600,000	1,700,000	100,000		
	通信費支出	1,000,000	1,000,000	0		

勘定科目			予 算 額 A	前年度予算額 B	差 異 B-A	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	印 刷 費 支 出		600,000	600,000	0	
	消 耗 品 費 支 出		150,000	150,000	0	
	OA 化 準 備 費 支 出		200,000	1,200,000	1,000,000	
	リ ー ス 料 支 出		600,000	600,000	0	
	修 繕 費 支 出		50,000	50,000	0	
	給 料 手 当 支 出		8,000,000	8,500,000	500,000	
	福 利 厚 生 費 支 出		2,500,000	2,500,000	0	
	退 職 給 付 支 出		0	2,700,000	2,700,000	
	保 険 料 支 出		10,000	10,000	0	
	負 担 金 支 出		50,000	50,000	0	
	支 払 手 数 料 支 出		270,000	270,000	0	
	租 税 公 課 支 出		80,000	580,000	500,000	
	退 職 給 与 積 立 預 金 支 出		500,000	500,000	0	
	雑 費 支 出		100,000	100,000	0	
	損 金 支 出		700,000	700,000	0	
	消 費 税 仮 払 金 支 出		500,000	0	△ 500,000	
当 期 支 出 合 計			96,712,484	80,992,784	△15,719,700	
次期繰越収 支差額			5,153,220	5,153,220	0	
支 出 合 計			101,865,704	86,146,004	△15,719,700	

### 名誉会員推薦の件

(第3号議案)

被推薦者氏名

1. 今野 浩 (前 OR 学会会長・フェロー・中央大学教授)
2. 西田 俊夫 (元 OR 学会副会長・フェロー・(株)NBL 会長)
3. 原野 秀永 (元 OR 学会副会長・フェロー)